

- 人生100年時代、Society5.0の到来、感染症への対応、環境問題、多文化共生社会への対応等に関する課題が顕在化・深刻化している。
- **多様な人々や団体、関係機関の連携による、生涯学習・社会教育の機会拡充が求められている。**

既存の仕組みにとらわれない、  
前向きな連携を深められるような

# 実質的に機能するネットワークが必要

必要な取組1

## ネットワークを活かした**学びの充実**

- 目的や課題の共有
- 既存のネットワークの活用
- 新たな考え方によるアプローチ
- 評価・検証の仕組みづくり
- 若い世代との連携
- 専門機関等との連携
- 学びつづける姿勢
- ICT機器の活用



ネットワークを活かして学びを充実させるポイント

ネットワークの有用性の認識	・ <b>取組を一歩進めるために</b> 、「学びを支えるネットワーク」を活用する。 ・強みや特性を活かし、 <b>補完し合いながら共に取り組む意識</b> を持つ。
ネットワーク、連携を機能させるための基本的な視点	・本来の役割や目的等、互いのことを理解する機会を持つ。 ・互いを理解した上で、 <b>どのような相乗効果が期待できるか</b> を検討する。 ・ネットワークの <b>「動き」に対して評価・検証</b> する。
新たな行政課題に対応できる体制	・社会の変化に伴う様々な課題に対応できるよう、 <b>柔軟な視点</b> を持つ。
連携の拡充	・自らの「強み」を積極的に発信して、連携の輪を広げる。 ・日頃の活動を通して、 <b>「関係者・協力者・知り合い」を増やす</b> 。 ・新しい発想を活用し、 <b>共に楽しみながら</b> 取り組む。

必要な取組2

## ネットワークを構築する力を持った**人材の育成**

- 必要な**資質**の確認
- 必要なスキルの確認
- 人材の発掘・育成
- 関わろうとする人への支援
- 必要なスキルの習得
- OJTの活用
- 次世代を担う人材の育成



ネットワークを構築するために必要な**資質**



学びをサポートし、ファシリテートできる  
多様な意見を柔軟に調整できる  
市場原理に左右されず、人づくり・地域づくりをめざすことができる  
異なる視点の人々や団体が出会う場をつくることのできる

具体的には・・

求めに応じて  
好事例を交えた  
助言ができる

関係団体、部署を  
紹介できる

多様な意見を調整する  
ことの重要性を  
伝えることができる

